

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

京丹後市教育支援センター管理運営事業

事業の経過・背景・課題

不登校児童生徒数が増加する中、京丹後市では教育支援センターを設置し、支援員5名体制にて不登校やその傾向にある児童生徒の社会的自立に係る教育相談、学習支援、体験活動などの様々な取組を実践している。一方で、「センターに通所希望をしない」児童生徒やその保護者については支援を届けられていない現状がある。

取組内容

交付実績額： 613 千円

- ・不登校やその傾向にある児童生徒の「社会的自立」を目指して、教育支援センターの体制強化を図るため、令和5年度に支援員を1名増員
- ・教育支援センター支援員が小中学校の別室等に登校している児童生徒への支援に関わり、各校の教育相談部会等に参加するなどにより、市内の不登校の状況を把握
- ・家庭に引きこもりがちな児童生徒の家庭訪問を行うなど、学校と協力しながらより重層的な支援を実施

事業の成果・今後の展望等

市内の不登校児童生徒の出現率は小中学校とも増加となったものの、一部の学年では、令和4年度と比較して継続及び新規の不登校児童生徒の出現率は低くなった。また、不登校児童生徒のうち、学校内外で相談・指導等を受けていない児童生徒の割合は、小中学校ともに全国の平均値を大きく下回った。

一方で、令和4年度と比較して依然として継続及び新規の出現率が増加している学年もあることから、令和6年度は教育支援センターと連携し、校内に児童生徒が安心して通える居場所を整備するなど、すべての児童生徒とのつながりを作り、将来の社会的自立を目指せるようになるための働きかけを強化する。

～子どもの社会的自立のために～

